

**令和6年第3回（6月）筑紫野市議会定例会
予算審査常任委員会**

○日 時

令和6年6月26日（水）午前9時00分

○場 所

第1委員会室

○出席委員（21名）

委員長	上村和男
委員	田中允
委員	辻本美恵子
委員	高原良視
委員	原口政信
委員	宮崎吉弘
委員	八丈一男
委員	坂口勝彦
委員	前田倫宏
委員	佐々木忠孝
委員	春口茜

副委員長	城健二
委員	横尾秋洋
委員	赤司泰一
委員	西村和子
委員	白石卓也
委員	山本加奈子
委員	古賀新悟
委員	段下季一郎
委員	檜木孝一
委員	吉村陽一

○欠席委員（1名）

委員	赤司祥一
----	------

○傍聴議員（0名）

○出席説明員（4名）

市長	平井一三
総務部長	嵯峨栄二

教育長	上野二三夫
教育部長	長澤龍彦

○出席事務局職員（3名）

局長	荒金達
主査	阿部早苗

課長	高木美智子
----	-------

開会 午前9時00分

○委員長（上村和男君） それでは、定刻になりましたので、予算常任委員会を開会いたします。

最初に傍聴の件をお諮りしたいと思いますが、傍聴はありませんので進めます。

本日は、さきの予算審査常任委員会で御可決をいただいた令和6年度筑紫野市一般会計補正予算（第2号）に関する報告の件についてであります。

平井市長、上野教育長、長澤教育部長、嵯峨総務部長が出席をされております。

それでは、執行部よりよろしくお願いをいたします。

長澤部長。

○教育部長（長澤龍彦君） 皆様、おはようございます。教育部の長澤でございます。本日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございます。

まず、私からおわびを申し上げます。

先日、6月13日の予算審査委員会において、校務支援システム導入事業に係る歳入補正予算について、議会への報告が適切でなかったという御指摘をいただいたところでございます。この件に関しましては、3月議会の期間中に急に国から補助金の大幅な減額の動きがあり、これに対し平井市長より、まず正確な情報把握や精査等を行い、筑紫地区と連携を取りながら補助金を復活する手だてを取るよう指示を受け、どうにかならないか、このような思いで、業務を最優先し右往左往していた時期でありました。

議会に対して正確な情報等を報告できる状況になかったことから、このことにつきまして、議会への報告を部長として所管課の学校教育課に指示しておりませんでした。その結果、議会への報告等が遅くなり、議会軽視と受け取られるような状況に至ったことについて反省をしております。今後、このようなことが繰り返されないように努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。申し訳ございませんでした。

○委員長（上村和男君） 平井市長。

○市長（平井一三君） 皆さん、おはようございます。本日は予算委員会の貴重な時間をいただきまして、誠にありがとうございます。

この件につきましては6月18日に正副議長に説明に参りましたけども、一昨日、6月24日に正副議長がお見えになり、議会の総意として私からの説明を求めるということでございましたので、本日出席をさせていただきました。

先ほど部長が申し上げましたとおりであります、今回の歳入補正予算の件につきましては私も、予期せぬ歳入予算の大幅な減額の動きに対し、なぜそのようになったかなど詳細な情報把握ができない状況でありました。また、筑紫地区5市共同で取り組んでいた重要な事業でありますので、春日市長とも協議を行わせていただきました。

まずは減額の理由を明らかにすること、そして補助金を復活する手だてがないのかなど、筑紫地区と連携を取りながら対策を取るよう教育部に指示を出し、その業務を最優先していた時期でありました。このようなことから今回の歳入補正予算について議会への報告が6月議会となり、議会運営に混乱を招いてしまいました。

今後、このようなことがないように再発防止に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

○委員長（上村和男君） ほかにありませんね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（上村和男君） では、これで予算審査常任委員会を閉会といたします。お疲れでございました。

閉会 午前9時05分